



梅の木の  
枯れし  
て

三ノ  
一ノ

新羅齊異全九集卷之五

癆瘵門

証之本源

癆瘵ノ病只一端ノ事ニアラス神氣ト  
形射ト虚損シ心氣腎精ヲ勞傷  
と是ヲ得タリ心ハ血ヲ主リ腎ハ精  
ニ主ル精汁ツキ血液カワイテ即勞  
瘵生ス凡壯年之時血氣充滿シ  
精液全備フ間夕モチ慎マズ酒食ヲ  
過シ房色ヤスノ精元ヲ傷リ不食  
盗汗白濁遺精シ面白ク燥キ煩ハ  
イニ體熱シ咳痰血骨蒸等ヲニル  
腎虚スニ依テ火邪盛ニ金衰ニ重  
キハ半年ニ死シ輕キハ二年ニ死ス  
凡癆瘵者此病ニ入ル其人血氣未絶

精神未散せざる治スレバ若血氣  
既乏シ形體肌肉削リ取ル如多白  
々及ニ發熱シ咳嗽シ便泄セバ

治スヘカラス神丹聖藥アリ云凡驗  
ア弁ル者ナリ如此證驗者其本

ヲ究メズ或ハ大寒藥ヲ進メテイ  
ヨク其中ラ虚レ或ハ大熱藥ヲ用

テモイヨク其血精ヲツクス能ク可慎  
五勞六極七傷之說奇効良方ナリ

五勞ハ志勞思勞憂勞心勞  
瘦勞是五臟ノ病也勞ハ神氣

ヲツクスカスノ意ナリ六極ハ氣極  
血極筋極骨極肉極精極是六

腑ノ患ナリ極ハ諸臟ツカレテ主  
偏モヤハルノ意ナリ七傷ハ心

肝脾肺腎ナラビニ内外ノ傷ナリ或  
五臟ト并骨ト脉ト傷ナリ傷ハ

形容ヨフルノ意ナリ

血盛ナス 蒲黄 茜根 藕節

筋根 痰盛ナス 半夏 橘紅 茯苓

枳殼 瓜蒌根 喘盛ナス 桑白皮 陳皮 蘇子

熱盛ナス 山梔子 黃柏 薑芥

風盛ナス 香附子 防風 荊芥

寒盛ナス 人參 樹枝 五味子

物ニテ手ノ下ニシテ六 遠志 茯神  
林濁ニス 猪苓 澤瀉ノ類  
小便ニス 木通 石膏ニシテ

遺精白濁アス 龍骨 牡蠣

燥熱共 石膏 青蒿 麩 麩 麩

盜汗イテ 牡蠣 黄芩 麻黄根

病後物、 四花 膏盲灸ヲ灸スベシ

諸方ニ云此證ニハ蟲アツニ心肺ノアイタ

ヲカク、 必ス先ニシラサルニ 神靈圓

ニテ吐出サスベシ

此蟲ニヤラサレハ 藏府ヲ食盡シ其

人ノ氣ツキマサニ死セントスル時九

ヨリトヒイテモカタワラフ 怯弱ナル人ノ

腹中ニ入テ傳尸病ト成テ 多ク人ニ

ウツリワツラハレ允フ也

傳尸病ヲコロムルノ法

先安息香ヲ燒テツノ煙ヲスハレ允

テスワキセサルハ傳尸病ニヤラズ故ニ

神靈圓ヲ用ゼ。煙ヲスワレハニスワ

キヤレハ即傳尸病也。言ハレト神靈

圓ヲ用ベシ

癩瘰之治方

神靈圓 癩瘰ノ諸蟲ヲサレ

雄黃 鬼糞 天靈蓋 蝮虫

木香 輕粉 大黃 右細末シ

酒ノ糊ニテ丸ジ辰砂ヲ衣トナシ

便ニテ五更ニ吞セヨ。時スヘタテ必

ク吐ス

地骨皮散 骨蒸壯熱肉ハカナク

子アセノタラシ治ス 地骨皮 秦尤

柴胡 枳殼 知母 當歸

鼈甲等 右劉桃 枝サキ 高梅ヲハ

テ煎シ用ベシ

地仙散 骨蒸肌熱一切虛勞之症

躑躅治入 地骨皮 防風 甘草

右キサニ竹葉ヲ入セシテ服ス

清膏散 男女五心煩熱勞瘵ノ十

ラントスルヲ治シ骨熱ヲ去事神

コトシ 生地黄 人參 防風

秦光 赤茯苓 熟地黄

柴胡 薄荷 胡黃連

右剉煎服ス骨熱セハ少利スル

藥ヲ用テ後與ヘシ

人參散 邪熱經絡ニ客トシ痰嗽盜

汗頭目ククシイタミ手足ノタルヲ治

黃芩 人參 茯苓 白朮

半夏 赤芍 杜仲 當歸

甘草 乾葛 右剉ナツクハシ

カニヲ入セシテ服ス

潤神散 勞サレ増寒發熱レ口カワ

キ咽カワキ自汗スルヲ治ス

人參 黃芪 竹葉 麥門冬

桔梗 甘草 右キサニセシテ服ス

散火湯 男女ノ手足發熱レ肌熱

筋ヒレ 髓熱シ是ヲ捫サスハ手ヲ

ヤクノクナルヲ治ス血虛ノユヘナリ

柴胡 白芍 人參 升麻

葛根 獨活 羌活 防風

甘草 右剉ニセシテ服

人寒涼ノ物ヲ食スル事ヲイム

柴胡湯 虛勞ニ榮衛順セス潮熱

テ黃色ニヤセテ筋骨ノ痛ニ飲

食進退アルヲ治ス

柴胡

秦光半 龍甲半 知母 甘草兩

右劉三ツスラハ煎ノ用ニ

五蒸湯 骨蒸壯熱ノ通用

石膏 三錢七 生地黃 菖根

茯苓 各半 竹葉 人參

黃芩 知母 各半 甘草 七分

右劉三ツスラハ煎ノ用ニ 海藻カラ

解勞散 虛勞ノ堅積 腹中ヲ攻メ 胃

痛テ 背ニトヲ九ヲ治ス 白芍 兩

枳殼 龍甲 柴胡 各兩 赤茯苓

甘草 各半 右キサニ生薑 ナツスラ

八世ニシ 食後ニ温服ス

柴胡梅連散 勞瘵骨蒸 久愈サ

ルヲ治ス 又五勞一傷ニ

柴胡 前胡 烏梅 胡黃連 各

右劉童便ヲ入 楮春髓 韭白ヲ加

煎シ服ス 三服ニテ 悉クイユ

遺精門 精之主 宰ハ心ニ有リ 精ノ藏 制ハ腎

ニ在リ 内經ニ曰 精身ノ本 生氣ノ源

髓ノ化ナリ 陽密ナルハ精即加仁

陰陽離散スルハ精氣即ツク 人ヨ

ク道ニ法トツテシツカナルハ精氣内ニ

タモツ智勞スル則ハ降ル者クダラ

ズ外ル者ノホラス 水火ハタリ 眞精

自ラモリ交ラスノ遺泄ス 要略ニ曰

虛勞ノ病タルニ 脉浮大 手足煩

元精胃精ノ論 父母ノ精氣ヲ得

多子トナリ入トナル其根在腎方  
取腎間之脂ノ下ニ有リ是人ノ元  
氣也 是ハ生來ノ精也 食氣胃  
ニ入テ精ヲ五藏ニ散シ水飲肺脾  
ヨリ腎ニ通ズ腎氣三毛ニ通ズ五  
經ナラズニユク精ニシラハ水穀日々ニ  
生スル精也 其水穀ノ精 生來ノ  
精ニ相隨ニ五藏ニ分布ス

治例

夢ニ遺スル者ハ心ヲ治セ  
精ノ滑ナル者ハ眞ヲ堅シ  
漏者ハ其精ヲ固クヘシ  
濁テ赤キ者ハ心ヲ温ベシ  
濁テ白キ者ハ經ヲ温メヨ  
白濁ノ者ハ痰血ヲ調ヘシ

遺精之治方

連肉散。小便白ク濁リ黄ニ精ヲモラ  
スヲ治ス。蓮肉 益智 龍骨  
右等分ニ細末シテ空心ニ米飲ク  
ウワスミニテ用

秘真散

小便白淫 精氣カクカラス  
及餘瀝アツテ夢ニ除人トマジカ  
泄精スルヲ治ス  
龍骨 兩  
訶子 兩  
辰砂 兩  
末メモナリニテ丸シ冷湯ニテ下ス

吐酸門

吐酸ハ熱ニ屬ス脾胃病ヲウケル也 内

積ヲイフトキハ痰飲宿食ノレワサナリ

治例

熱スル者ハサメスベク脾胃ハ濕ヲ惡ク  
苦ニカワカセ痰アラスバ散メ涼フセヨ

宿食アス満ニナ引ヘシ

吐酸之治方

麴末丸。中脘ニ宿食ヤタテ胃ヲヨカ  
シ心痛シ或ハ口ヨリスニツラハク

ヲ治ス

神麴兩

蒼朮半

陳皮兩

右細末以薑汁ニテ神麴ノ糊ニテ

丸ニ薑湯ニテ用ベシ

痔門

諸證 牝痔ハシリノマワリニ肉珠ヲア

ラハシ用ノ乳ノ如クニテウミ血ヲ出ス

牝痔ハシリノマワリニ瘡ヲ生シ腫レ

痛ニ四五日ニワミツエテ即散ス

疥痔ハ尻ノマワリカヌクサ子ニリ。

ツクハシ痛ニカユク血ヲチカレ膿水

シタル腸痔ハシリノ多ク結核ニ血

イテ寒熱往來シカワヤニ行シ毎ニ

脱肛ス血痔ハ大便ニ行毎ニ清血

下ルトヤス酒痔ハ酒ヲノムゴトニ

瘡イテ腫レテ血ヲチカス

痔ト漏ト瘻 痔漏同ジト雖ヘ凡

初シリノマワリニ生シ物イデキヤブシカ

ルヲ痔トイフ既ニヤブシ潰テ黃汗膿

血イテヤマガルヲ漏ト云ナリ

治例 大略熱ヲ解シ血ヲ調ヘ氣ヲ

順シ血ヲスシラシ風ヲナリ毒ヲ消ス

腸痔漏之逆順 便血ノ身寒ルハ

吉便血ノ身熱スルハ惡腸痔白沫ヲ

下シ脉沉吉腸痔白沫ヲ下シ脉浮

ハ由膿血ヲ下シ脉滑ハ空膿血ヲ下シ

麻懸絶ハ死ス  
痔之治方

橘皮湯氣痔ヲ治ス

川芎

桃仁

右判

乾薑湯專酒痔ヲ治ス

枳殼

杏仁

右判

加味四君子湯五痔下血面ノ色ニ赤ミ

黃ニ

ヲク

人參

黃耆

白朮

茯苓

白朮

橘皮

枳殼

木香

香附子

甘草

茯苓

生地黃

乾薑

白朮

枳殼

木香

香附子

甘草

茯苓

生地黃

乾薑

白朮

枳殼

木香

香附子

甘草

茯苓

生地黃

乾薑

白朮

枳殼

木香

香附子

甘草

茯苓

生地黃

乾薑

白朮

枳殼

木香

香附子

甘草

茯苓

生地黃

乾薑

白朮

陰虛陽虛之分別 內經言陰虛者

陽必アツル。發熱自汗入陽

汗入

自汗盜汗之辨 發散ニヨラス自汗

汗出ルヲ自汗ト云。睡中ニテホマズ

汗イッルヲ盜汗ト云。血虛ナリ

諸證之因治 火氣ノホリ蟲胃中ノ

濕汗ヲナサハ涼膈散ヲ用ヨ。雜病ノ

盜汗ハ心虛ノ故也。心氣ヲオサ腎

水ヲメシ陰陽調和シ水升リ火降

ル其汗自ラトミル 別製ニ汗ナク兩乳ノ間ニ計リ汗出

ルヲ心汗ト云也思慮多クハ汗出

凡黃耆黃連生地黃當歸ノ類ニ

テ血氣ヲ補ヒ以テ陽ヲ制シ熱ヲ

カシテ汗ヲツカラ止ルナリ

汗之治方

黃耆六一湯。虛勞ノ自汗ヲ治ス

黃耆六錢 甘草錢一 右剉生薑

ナツヌク入煎スル也 白朮錢一 白芍錢一 加

ヘテ佳也

當歸六黃湯。盜汗ヲ治スルノ聖藥也

黃耆六錢 當歸錢一 熟地黃錢一 黃芩錢一

黃連錢一 黃芪錢一 右剉煎

用ヘシ

建中湯。表虛ノ自汗ヲ治ス

芍藥五錢 官桂錢一 甘草錢一 右剉

生薑ナツヌク 煎テ服スベシ。黃耆

二錢ヲ加フ。黄耆建中湯ト名ツク  
虚勞ノ自汗ニ良シ。當歸二錢ヲ加  
テ當歸建中湯ト名ツク。婦人血

虚ノ自汗ニ良シ  
建中湯。虚熱ノ盜汗。百節痛ニ。

口ニカク氣短ヲ治ス。黄耆  
遠志 當歸 澤瀉 芍藥 白芍藥

龍骨 人參 甘草 右判  
煎テ服ス。一方ニ桂心有

正氣湯。盜汗ヲ治ス。黄耆 知母  
甘草 右判煎テ食前ニ服スヘシ

經驗方。盜汗及ヒ陰汗ヲ治ス  
牡蠣ヲ炒テ末トシ。汗アハレヌルヘシ

效逆門  
内經曰。欬逆ノ太過。欬逆ノ不及。曰。欬逆

タル物ヲ食シ氣フサガリ皆ヨク咳逆  
ヲナス。咳逆トハ順ナルノ儀也。皆氣ノ

クタル事ヲエガル故也  
治例 カニヨリヲ以テ。鼻ヲイロイ。鼻ヲ

ヒテトマル。ソラゴトヲユヒツケ。恐レ敬馬カ  
シメテトマル。鼻ニヤツキ食名ニホイヲカ

カシメテトマル。右皆是ニテ。故馬カシメテ  
ヲ降スノ意ナリ。吐利ノ後。胃虚寒ノ

效逆也。羌活。丁子。柿蒂。吐利自  
熱シ燥キテ。咳逆セハ。橘皮。竹茹ノ

類若實スル者ハ。傷寒ノ下ヲ失シテ地  
道通セズ。咳逆スル者ハ。是ヲ下スヘシ

傷寒ノ咳逆ノカ別 仲景カ同傷寒  
ハ本經ニタルニ依テ邪ニテタル。其邪

攻ル則ハ必咳逆ス又大ニ汗レトシ  
極テ效逆ヲナス。胃虚寒スハ故也。

橘皮 生薑 半夏。又陽證ニシテ。潮  
熱有テ。效逆セ。柴胡 黃芩 梔  
皮 竹茹 陰虛ニ陽火俄テ甚ク  
ニアテ。肺ニ入テ效逆トナラハ熱ヲ瀉

シ火ヲ降スヘシ  
久病ノ後或ハ産後ニ此證アラハ皆  
病深ノ意ナリ

效逆之治方  
橘皮竹茹湯。吐利ノ後胃虚シ。膈熱  
效逆スルヲ治ス。橘皮 竹茹  
人參 甘草 右剉生薑ヲ入

煎テ用ヘシ  
柿蒂 丁香 右剉生薑ヲ入  
煎テ用ヘシ

半夏湯。シヤクリン死セトスルニヨシ  
半夏 生薑 右剉煎テ服ス  
橘薑湯。胃寒テシヤクリスルヲ治ス  
橘皮 乾薑 通草 桂心

入參 甘草等 右剉煎用ヘシ  
枳殼湯。諸ノ咳逆ヲ治ス。橘皮 枳殼  
枳殼 右剉煎服スヘシ

鼻衄門  
衄血。肺ヨリ出ナリ。犀角 升麻  
梔子 黃芩 地黃 芍藥  
紫苑ノ類ヲ用コ息ニテ血ヲ涼シ血ヲ

メクラスヘシ  
外治 井花水ニテ。紙ヲヌラシ頂クニ

ツクベシ。左ノ子ヨリ出ハ左ノ中指ヲク

クハ右ノ人ナヨリ出ハ右ノ中指ヲク

クハ左右ヨリ出ハ兩ノ手ノ中指ヲク

ル。或ハ蒲黃ヲ黒クイリテハチニ吹

シ。又龍骨ヲ末ノ吹モヨシ凡九

イツル血ニ用ヨ

時行ノ痲瘋等ノ人ナ血ヲ早く留ムハ

カラス。仲景ガ云衄血ヲハ解スヘシ

鼻衄之治方

芍藥湯。今血ヲ治ス。黃芩。芍藥

甘草。右判煎温服ス

如聖散。鼻血ヲ治ス。山施子性

右一味末ノ鼻ニ吹入ヨ

黃耆芍藥湯。ハチ血出効逆シ。面赤

芍藥。升麻。羌活。葛根。各一

日草。右判煎テ食遠ニ可用

吐血門

吐血ハ陽サカシ陰虚スルガ故ニ血ニ

ニ不行火火ノイキヲヒニ依テ赤リイ

ツ。肺必火ニシテ抗也。大ハ發熱

失血ナリ凡陰ヲ補ヒ火ヲオサヘヨ

瀉之前後之辨。先血ヲ吐シ後痰

ヲ吐シ咳スルハ陰虚ニ火動シ痰不

降。因物湯ヲ用ヨ。痰藥降火ノ藥

者加テヨシ先痰咳有テ後血ヲ吐

スルハ痰ノ積聚也。早痰火ヲ可降

証吐血之例。嘔吐ノ血ヲハタハ胃

ヨリイツ。實世ハ犀角。地黃ヲ用ベシ

虚世ハ小建中湯ノ類ニ黃連ヲ加

へしヨダレト痰下ニ血ノ交ルハ胃中ノ清  
 血熱蒸シ出ル也ツヨキニハ挽子ヲ用ヨ  
 輕キニ藍實ヲ用ベシ。俄ニ紫キ色  
 ナル血ヲ一椀計リ吐シ。別ニ頰ハサルハ  
 苦カラスモトヨリ腹中ニ有ル死血ヲ  
 オリフシ。熱ノヤフリタル也。四物湯解  
 毒湯ノ類ヲ用ヘシ。舌上ヨリ血イテハヤ  
 ニナル槐花ヲイリ末シテツクヘシ。吐血  
 シテ渴スルニ葛根ヲ用ヨ  
 凡血ノツラヒニ行ソ唾血。衄血。吐血ト  
 ナルハ皆逆也。若變シテ下行シ惡痢  
 トナルハ順也。故ニ仲景カ云。畜血ノ證  
 ニ血ヲ下ス物ハツツカラ愈ヘシ

脈例 吐血ノ脈大ナル者ハ治シカタク身  
 凡者ハ治シヤス。脈經ニ曰鼻衄吐血  
 ノ脈沉細ナク吉ナリ。痔大ナルハ即  
 肉ナリ

吐血之治方

赤芍藥湯胃ニ瘀血有テ心下フク食

ニ入テ即嘔血スルヲ治ス 赤芍藥

半夏兩 陳皮一兩 右剉生薑ヲ入

テ煎服スヘシ

三黃丸積聚有テ吐血レ咽膈利セズ

二便秘澁スルヲ治ス 黃連

黃芩 大黃各等 右末ニ丸レ服ス

犀角地黄湯傷寒ノ汗下ニ解サズ經

絡ニ熱シ氣ニ隨テツキ盛レテ衄トナル

或ハ氣ノ道フチカリ。流シテ胃テカリ

血衄血ス。餘血ツキス。面黃ニ大便黒シ



脈虚ニテ煩悶スルハ暑者

脈沉ニシテ吐逆スルハ濕

治例 火ソク痰ヲ動ヒテ眩セバ二陳湯

子黄芩羌活加濕ニ侵テ眩暈セバ

腎著湯ニ川芎ヲ加ヘレバ氣虚ノ眩

暈ニ木香白木陳皮半夏ヲ用

血虚ノ眩ウニ當歸川芎桂心用

ハ乾薑用

眩暈之治方

芎朮湯雨濕ニラカサレ眩ウニ嘔逆頭重

不食スルヲ治ス川芎 半夏

白木 甘草 右剉煎服ス

昔黄湯熱ソ頭目眩ウニスルヲ治ス

菊花散一切風ニアリ頭目眩ウシレ

面ハルヲ治ス 菊花 旋覆花

牛旁子 羌活 獨活 甘草

右剉煎シテ食遠ニ服ス

防風飲風痰氣發レ頭旋メ嘔吐不

食スルヲ治ス 防風 人參

橘皮 白木 茯神 生薑

右剉煎温服ス 桃李雀肉蒜醋

ヲ忌ム

馬廐ハ口ヲ介頭ヲリ馬ノ如クニイハ

牛廐ハ眼カタニリ腹ヲラレ目ヲミハルハ

肺ニ應ス

羊癩ハ舌ヲイタレ上モラコノ六腑ニ應

附五編

雞癩ハ頭ヲ振リソリカハ物ニ驚ハ胃ニ

應ス

猪癩ハツマアムヲ吐ナリ腎ニ應ス

痰涎甚キニ依テ心ノ寒シ塞キタ

ミレイ出ハ甘サニミツテ俄ニ倒レ目

手足ビクヌカレ呂眼引ツリ旬月其有ニ

ハリスクミサケヒヨハリヲワラ吐ク食

頃ニシヨミカハサムル也癩ハカクノ如ク

五種有テ四藏一府ニ應ス癩ハ全ク

心ノ藏ニ歸スルナリ

又兒癩ノニ證 風癩ハ風ニアタリ經

絡通セス此病ヲ成シ食癩ハ母或ハ

ラチモ飲食不節ニ依テ魚鳥ヲ過

レ酸ク辛キモノヲ食スルニヨツテ完

テ癩ヲヤム

治例 熱アラガ心シスレフセヨ痰ア

ラバ吐ノ法ヲ用ヨ丹溪ガ云凡痰

ヲ順ラスヲ先トシ火ヲタツ子テ涼シ

フスルヲ次トスサリナガラ痰ノ多少

ハ火ノ多少ニ隨テ藥ヲ用ヘシ

青黛 柴胡 川芎ノ類ニテ肝ヲ

平ニスヘシ

癩癩之治方

續命湯癩ヲ殺リモタヘ倒レマワラ吐

ク四體ソリカハ自カハ口ヲクヒツ

ク物ヲオホエサルヲ治ス

竹瀝 二合 生地黃汁 一升 龍齒 末

生薑 防風 麻黃 防己



河豚ノドクダ  
五倍子明ハシニテ解ス 自ラ死シタ  
ル鳥々多物ノトクヲムラフキ 頭巾ノヤ  
カニテ解ス 昔ノトクヲムラフ地漿ニテ  
ケス。山梳子佳也

國老飲 蠱毒ヲ治ス  
甘草 各等 右ホソネニテ 調下ス 黒  
延ヲ瀉シテ良

神授散 蠱毒ヲ治ス 升麻 未ヲ  
三錢 淡水ニテ調下ス

方ニ蝮蝎十四箇。辛醋一升ニヒタシ  
ミツ死ノ後其レヲ服ス。既ニ死シ  
タル者モ生スルナリ

キモノ如クナルヲ治ス 菡菖  
蕪荷根 右判煎頻ニ可服  
蠱毒ノ名ヲ呼テ愈

神仙解毒萬病圓五種ノ蠱毒ヲ治  
ト切諸毒ヲ消ス 五倍子  
山慈苳 續隨子 大戟 半  
麝香 別研 右麝香續隨子ヲ

除ノ外。末ニ其後ニ味ヲ合ノスリマ  
セツヨキ 餅ノリニ丸ス。薄荷ノレ  
或ハ井花水ニテ研テ用ヘシ端午七  
夕重陽ノ日合スヘシ。或ハ天徳月徳

日モヨシ家ヲキヨメ。香ヲクキイカニ  
モ。正ニク合ヨ。婦人六支田下鷹猫  
或ハ六根不具ノ人大ニ禁ス。此藥ハ

癰疽惡瘡諸風癩瘰赤腫ヲ治ス

或ハ狐狸ノ毒惡菌疫死ノ獸毒蛇  
犬惡蟲ノ所傷ヲ治ス

健忘

一憂思スクルニヨリ心胞ヲ損シ神舎入

スレカラス他事ニヨリ多クワスル

也病心脾ニヨリ精心短少ニ生ズ

ワスル事也痰アル者モ忘ナリ

治例 心脾ヲ兼ラサメテ神安意

定時イコ脾ヲサムルニ白木

疾神 甘草 遠志ノ類心ヲ才

サムルニ人參 菖蒲 木香

黃其ノ類

健忘之治方

定志圓心氣サタマラス心ホレテ多ク

葛根兩 白茯苓兩 右末ノ蜜ニテ

丸辰砂ヲ衣トナレ米飲ニテ調下ス

寧志膏心ホレテ物ワスルヲ治ス

辰砂 乳香兩 酸棗仁 人參 各一

右末ノ蜜丸棗湯ニテ用ヨ

茯苓湯痰心胞ヲフキウスレテ諸毒

一ヲ失レ言語癡ノ如クナルヲ治ス

白茯苓 陳皮 半夏 人參

香附子 益智 各一 甘草 錢

右剉烏梅生薑ヲ入煎テ用ヨ

天地煎心血カワキ少ク口カワキ咽

カワキ胃イキレテ寒物ヲ忌ミ心

ホレ小便赤瘡イデキウスレヤスキヲ

治ス 天門冬二 熟地黃一

右末ノ丸人參湯ニテ下ス

千金方ニツヨク物ヲスレシテ治ス又ク

用六翫眼ニナリ智慧ヲニス

龍骨 遠志 益智 右等分

未ノ食後ニ酒ニテ用日ニ二度

心々ニ并カリツク志レシテホエチカイ

スルヲ治ス七月七日蜘蛛ノイヘヲト

リテ尾ノ中へ入シ人ニ知ラセサレ即チ

長ク物ヲスレシ

一方ニ戊子ノ日東ニサレタル桃ノ枝

ヲ三寸キツニ枕ニスヘシ必スワスル

事ナシ

陰癩門

四種之癩ヲモツリ 一腸癩ハヘシハ

痛ニ黄水イツニニ六ノ氣癩時天

升腎腫脹ハ片ハニ大ニシテ石ノ如シ

四ニ水瀦ハ水ヲツニ大ニハルハ皆コレ

腎虚ニヨリ勞後ニシテ風濕ニ侵レ

結ノ散セス又ノ腎氣虚癩ノ癩ヲ

生ス

治例 腎ヲ補ニ茴香地黄ノ類

風ヲ散スルニ防風ノ類濕ヲノノクニ

木通枳實檳榔ノ類血ヲ通ス

ルニ杏仁牡丹皮ノ類氣ヲ廻スルニ

橘皮昆布海藻木香ノルイニ此

脈ヲツニヒカニシテ證ヲニワキマヘテ

レヲ用又關元ヲ灸スヘシ臍ノ下ニ

陰癩之治方

橘核圓四種ノ癩病ヲ治シテハ

黃水イツ玉モカクハシ痛三胸ニヒ

ビキワツラウヲ治ス

海藻 昆布 海帶洗 川練子

桃仁兩 厚朴 木通 枳實

玄胡索 桂心 木香 右末

酒ノ糊ニ三丸ニ鹽湯ニテ送下

牡丹散 小兒ノテコニ方サカリタルニ

治ス 防風 牡丹皮 各等

右末ノ鹽湯ニ点服ス

脱肛門

肺ト大腸トハ表裏タリ 肺ノ臟ニ執ツ

ツム則ス。肛門閉結ス 肺ノ臟

虛寒スルトニハニラ門脱出ス

婦人小兒之脱肛 女難産ノ時ツヨ

シ煩ヒ大腸屬セタツコウト成ル

右各證ニシタカヒ。虚實ヲ詳テ。肺

ヲ補ヒ腸胃ヲ補トキ公自然ニ愈

治例 血虚スルニ四物湯。血熱スルニ

公黄蘗シ加ヨ 氣虚スルニ人參

黄耆川芎ヲ用ヨ 外麻ライム

脱肛之治方

香薷散。コラ門脱出スルヲ治ス大人小

兒イツヒモ吉 香附子 荆芥 各等

右剉煎シタツコラ門ヲ洗其後

五倍子ノ末ヲヒ子リカケヤウラカヲ

シイシヨ

縮砂湯。大腸屬ノ熱シ脱コウ赤クハ

ルヲ治ス 縮砂 黄連 木賊 各等

右末ノ空心ニ米飲調下ス

荆香散。タツミウヲ治ノ妙ナリ

香附子 荆芥 各半 縮砂 半

右末ノ食前ニ白湯ニ調下ス

一方三艾葉コク煎。コソ門ヲヒタスベシ

即入

一方六木賊ヲ黒ヤキニシテ粉ニシテ

腸ニヒシリカケヨ

一方五倍子ヲ煎。明ビシノ末ヲ入

テアラウヘシ

腋臭門

八ノ腋下ノカキヲ。胡腋ト云。其イワシ

ハ胡國ノ人其ワキ各クカシ。又狐腋

トモ云。其イワシニ狸ノキ其カシ

腋氣之治方

密陀僧 兩 明礬 兩 輕粉 錢

右末ノ腋下シアラヒスリヌル半月ニ至

テ効アリ 半年ニ至テ悉クイユ

一方瑠璃ノ如クナル膽公ヲ。半分カキ

半分ハ其マ末ノ輕粉少入テスリ合

生薑ノ汁ニ下キ合腋ノ下ニ付ヘシ

一方アツキツキタテノ餅一枚ヲニツリ

サキ密陀僧ノ細末ヲ錢ハカリ。ヒ子

リカケ急ニ兩腋ノ下ニハサシ少イ子

ハルヘレヒエタスハ是ヲステヨニ度ニテ

病ノ根ヲ絶

一方狐狸ヨリモワキノ臭ヲ治ス

白礬 黃丹 雄黃 輕粉 鐵粉 右抹ノ毎夜皂菜水ニテ

ワキノ下ヲアラヒツワキニテ藥ヲト

キ付ヨ

眼目門

内經ニ曰。目ハ血ヲ得テヨク物ヲ見ルト。

蓋血ニ亦太過不及アリ。太過ナル

時ハ目壅塞ノ痛不足ナル時ハ目耗

竭ノ暗ニ年少壯人ハ血ノ有餘ナル

ハ老人ハ血ノ不足ナルハ是亦大醫

ノ説也。ナラ詩ニ虛實ヲ察スヘシ

五輪火ニ依テ病ヲナスノ論 烏睛ヲ

風輪ト云。肝木ニ屬ス火肝ヲカセハ目

クニ内眦皆外眦皆ヲ血輪ト云。心火ニ

屬ス火自盛ナル赤脈目ツツラヌ。

上下ノ眇ヲ肉輪ト云。脾土ニ屬ス火

脾ヲカセハマフタハル也。白睛ヲ氣

人ニシモル也。

右五輪ノ論。俗醫皆コレヲ知ル。レカモ

目疾アハソノ由來シウキマヘズ。目ハ火ニ

ヨラガレバヤマガル物ナリト

治例 取月經虛損ニ目クタク久ミハル

ニ空心中取月ノ補藥ヲ用テ食後ニ情

涼ノ藥ヲ用ヨ 肝經風熱ヲウケ或

ハ酒ニヤブラレ赤ク黃ナルニ大黃黃連

ノ類ヲ用ヘレ 脾經熱シウケマブタ

ハ風アヒレシカニ施子竹葉ノ

類ヲ用ヘレ 肺經熱シテ肝ヲ剋シ

漸マケトナル白マニ瘡生ジハル也

是ハ熱物ヲ食シタル故ナリ。桑白皮

ノ類ヲ用 心經熱レ五臟フヤカリ

熱シテマヅリカシラカクレブルニハ

枳子仁 大黃 連翹 燈心 竹葉 用

テ治 風證ハ散セヨ。キシ花 細辛 防

風 黃芩 荆芥 熱證ハスレフセヨ。

地黄 黃連 決明子 黃芩 石膏

氣結セハ順セヨ。桑白皮 升麻 黃

芩 菊花 血大過ナラズ。血ヲ瀉セ

ヨ。桃仁 芍藥 生地黃 黃芩

血熱セハ地黄ヲ藥ノ類ヲ用ヘシ

腎虛セハヲキノクベシ。五味子 鬼絲

子 地黄 枸杞 覆盆子 肝腎

セ。調ヨ。枳子 車前子 當歸 地黄

眼目之治方

ニ妙散。肝ヲヤレナヒ。目クラクナミダ。

コホルニ良。當歸 熟地黄 各等

洗肝湯。肝實ノ眼ヲヤムヲ治ス

人參 黃芩 赤茯苓 枳子

川芎 柴胡 地骨皮 甘菊花

桔梗 黃連 甘草 右ハ

咽ノ苦竹ノ葉ヲ入煎食後ニ用

瀉肝散。肝熱ノ眼アカクハ痛ムヲ治ス

枳子 荆芥 大黃 甘草 各等

右判煎ノ服スレ

撥雲散。風毒ヲ散ジシマケラレリソテ

赤ク爛ルニヨシ 羌活 防風

蒺藜 荆芥 蟬蛻 甘菊花 各等

右細求シテ桑白皮ノ煎湯ニテ調

下ス

同銘。男女風毒外リ。攻メ目クラクマ

ナイテ熱淚ナカレマフタ赤クタル

ミシリミカレヲヨリ。痲肉ヤレ出テ人ミ

ヲオカスラ治ス

羌活 防風

柴胡

甘草 各一

右剉煎服ス

又細抹ノ葉ノ上スミニテ 調下。魚鳥

温麩アフリモヤキモ風ヲ發スル

等ノ物ヲイム

黄散。白ク赤クカユク風ニ向ヘ

ナニタ出。シラツテ開キ難キヲ治ス

生地黄

赤芍 各一

當歸 甘草 各半

右剉煎食後ニ温服

細辛飲。眼晴イタミコラフ。ヘカラサルヲ

治ス

白芷 細辛 防風

赤芍 各等

右せし服ス

明眼地黄圓 男女肝虚ノ積熱

カキヲ治ス。腎肝損シ風邪ノヲカス

ニヨシ

牛膝 三

石斛

枳殼

杏仁

防風 各一

生地黄 熟地黄 各

右末ノ丸シ食前ニ益湯ニテ送下ス

荆芥散。肝經熱目アカクハルヲ治ス

荆芥

當歸

赤芍 各一

黃連

右剉煎三沸ノミナシヲ洗ヘ

一方ニワカニアカク熱シ腫タル眼ヲ治ス

黃連

黃柏

赤芍

杏仁 各等

銅鐵筒 右煎青絹ノ手シテ浸シ眼

ヲ洗

一方ニミダ出。不潔ヲ治ス。黃連ヲコク

煎シ其汁ニ。ワタラヒタシホシテラゴヘ

方目中ノ百病ヲ治ス。乳汁ニテ黃

連ヲ煎。サイクアスヘ

一方虛勞ノ眼ヲ治ス。三月ノテ多ク花

ヲ取リカケホレニシテ末ニ井花水ニシテ

毎日空心ニ用ヘシ。久服スレバ長生シ

夜細字ヲヨム 龍腦散 右等分

細沫ト極メ研テ眼ノ角ニ指ヘシ

眞珠散 眞珠分 蓬砂分 龍腦分

枯礬朱 石膏朱 右細末ソイカニ

モ能クスツテ指スベシ

珍珠散 眼目ノ諸疾ヲ治ス

爛甘石 汁七滴入之研 龍腦 朱

麩仁皮油研 白丁香 去黑研 右細

末ソイカニモシクスツテ指スベシ

耳病門

ノナカリ。神氣通セズレテ。耳聾ス。

奇効良方云。老人頭目昏眩シ上

氣シ耳ナリ。ヲホロナルハ。皆陽實シ

陰虛スルノ證ナリ。俗醫曰。老弱

虛冷シテ。熱ナレト。是即大ニ誤也

耳聾ノ深淺 凡氣厥ノ耳ヲフサギ。

聾スルハ治シ易シ。氣順流スル則ハ

耳中壅塞ノワラヒナレ。取月虛シ精

脱シテ耳聾スルハ治シ難シ。色慾ヲ

持チ難クシテ。天真ノ元氣虛シヤス

ク。滿チ難キノイハレナリ

治例 陰虛シ火動ノ聾セハ。四物湯ノ

類ヨシ酒ヲ過シ耳ナラハ。枳殼。柴胡。

大黃。甘草。青皮。荆芥。耳ヨリ膿ヲ

出ス六龍骨。枯礬。赤小豆。烏賊ノ

末ヲ入ヨ。經脈虛シ風ニアリ。風耳

脈ニリ經氣フサカツテ。龍耳スル者ハ

頸痛ノ證アリ。風ヲ散シ氣通スヘシ。

防風。羌活。木通。黃耆ノ類。大病ノ

後ノ龍耳ニ。石菖蒲ノ煎汁ヲ耳ニ入

ヨリニテ入ヨ。石菖蒲耳ニ入ニ。雞ノトツサ

カノ血ヲ入ヨ。即蟲出。又ニツク汁ニキ。

醋ヲ合耳ニ入ヨ。モシ蟲イキタラハ火ヲ

照スニ明ニムカツテ出ツ

耳病之治方

解倉飲子。氣虛シ熱シラサカリ。或ハ

エテ息者ニアタリ。風熱并リ塞リ。耳

木散。去殼各。右剉煎シ食後

臨睡ニ服セヨ

一方耳々々痛ニ膿出ルヲ治ス

五倍子。兩二分。右細末ノ耳中ニ入ル

透耳箇腎歷シ耳ノ内。風水ノヨリ如

クナルヲ治ス。椒目。巴豆

葛蒲。松脂。右細末シ薄ク

紙ノ上ニヒキテ。細ク巻テ耳ニ入ヨ。一日

ニ一度カ合ヨ

犀角散。風毒フサカリ。熱シム子ニ痰

アツキ。耳シイ。頭ヲモク眩暈スルヲ

治ス。犀角屑。前胡。甘菊花

石菖蒲。枳殼。生地黃。澤瀉

木通。羌活。各半。麥門冬。一

甘草分 右剉煎食後三服ス

一方ニ耳聾ヲ治スルニ肩解汁ヲ耳

中ニ入ヨ妙也

一方ニ晝夜耳鳴リ流水ノミヨリ如ク或

ハカユキモノヲ治ス生地黃ヲ裏ノ核亦

トカニニ畏ミヌラヒヤツイニウイニ耳

ヲササケサイクトリカエヨ

耳ニ水入タラハ薄荷ノ汁ヲレホリ入ヨ

心効アリ

耳ノツラニ物有テ出ザルニ号ノツルヲモキ

ツノカヒラヲチラサレヌテヨキニカワラ

鼻病門

鼻ノ通竅清氣出入ノ道ナリ肺

明ノ經ヲ密ニハツキ血ヲセムニツリ

二行則ハ鼻血トナル冷滯ノ氣ハ之ニ

塞カレバ香臭ツカハズ五液熱ニ仍イ

ツ肝熱スハ淚イツ心熱スハ汗

イツ脾熱スハヨクハイツ肺熱ス

ハ涕イツ腎熱スハツワキイツ

右是熱キワシム反テ汗イツルノ類

也火ニテ金ヲチル熱甚ダレテハ反

テ化シ水トナル

酒瘰 酒ヲ過シ氣血ヲサカリ上焦

熱シ鼻ノサキ赤クハ内ニ瘰ヲ

生シニニテキヲ酒瘰ト云外ニ牛

ノ耳ノアカラツチノ内藥ニ山梔子

黃芩橘皮ノ類ヲ用ヘト又黃蘗苦

多檳榔ヲ細末ニ猪ノクヲニトキ

合ツケヨ

治例

寒甚温力ニ桂心人參麻黄

乾薑川椒

熱せハサスニ黄芩荆

芥

氣血フサカス通スルニ木香

木通

風寒結トコロラフハ散ス

ルニ防風升麻細辛川芎羌活陳

皮ノ類ヲ用ヨ

風熱外リハ全壅滯

レ脈浮ニシテ他證無ハ藥ヲテケル中ニ

入テハナシル時ハ開通ノ愈

鼻病之治方

開通丸ハナ塞カリ通セサルヲ治ス

蕪澄茄半薄荷錢荆芥錢

右末ノ蜜ニテ丸レ含ミトロカレ汁ヲム

膏瀉散鼻ヲサカリ通セズイキツカレ

右末ノ一分七綿ニツミハナク中ヲ塞

キドラヲアヲキニ卧ペレ

犀角散肺熱レハナカワキ涕ナク心神

煖悶スルヲ治ス

犀角屑木通

升麻

赤茯苓枳實麩炒各一兩

梔子二兩

右末ノ食後ニ米飲ニテ調下ス

芎藭散

鼻塞カリ香臭ヲカサルヲ

治ス

川芎辛夷各一兩細辛三分

木通兩

右末ノ少シ計リ綿ニツミハ

ナノ中ニ入ヨ

寢ル時ハ替ヘヨ五七日ニ

シテ愈ユ

乳香散ハナカク物イデキタルヲ治ス

是ヲ酒瘡ト云

硫黃輕粉

細辛乳香各等右末ノ并花水

ニ下キ合セ付ヨ是肺ノ熱病ナリ

詩

赤鼻ノ肺風ヲ治ス

肺風赤鼻最難醫

我有良方付與伊

但用硫礬為細抹

茄汁調塗始見奇

小兒ノ赤鼻ニハ黃丹雄黃ノニ味ヲ未

メ水ニトキ合ツケヨ

唇口舌門

唇口ハ脾經ノツカサトル處五味ノ入トコ

ロナリ

四氣之分別 風多ケハ唇動ク

寒多ケハ唇カク 燥多ケハ唇カ

ワ 熱多ケハ唇サウ

氣血之ニ證 氣鬱スバクチヒル瘡生

ナシ

味ニテ病ノ源ヲ知 ロノ鹹ハ寒也 ロノ

酸ハ食ノ停滞 ロノレフキハ燥トナセ

口水多キハ虚ナリ ロノワマクニカキ

ハ熱也 ロノ多キハ胃中ノ熱ナリ

舌ノ別脈ハ舌根ニカハル 心熱スレハ

舌ハ瘡生ス 脾ノ絡脈ハ舌傍ニ懸

脾開ル時ハ白胎ヲ生シ雪ノ如シ

肝ノ脈ハ舌ヲ本ヲ纏ラ肝子ガレハトク

ヨリ血出ツ 風寒心脾ヲヤブレハレタ

コワクモイワズ 熱塞カレハ心脾ヲ

攻レハ舌腫レテモイワズ 心脾虚

ノ風熱ス是ヲ止レハ重舌木舌出血

治例 口舌ノ瘡ハ上焦熱シ塞ハルニ

梳子 前胡 犀角 甘草 灸

右等分末レ煎ツ温服ス 外麻飲 脾胃熱シ風冷相乘ノ辰ハレ

サヨニリ痛ヲ治ス 外麻 前胡 犀角屑 薏苡 甘草 葛根

龍膽草 竹茹 右剉煎レ食 後ニ服スヘ

外麻散 心脾熱シ外リ 咽ハレ痛ヲ治ス 舌ニ瘡生シ 咽ハレ痛ヲ治ス

外麻 芍藥 人參 桔梗 乾葛 甘草 右剉煎ツ

温服ス 門冬飲 心熱サカニテ舌上ヨリ血出ル

ヲ治ス 麥門冬 生地黃 兩各一

門冬飲 心熱サカニテ舌上ヨリ血出ル

治ス 麥門冬 生地黃 兩各一 甘草分

茜根 兩半 右咬咀レテ煎服ス 舌ヨリ故無ク血ヲ出テ舌上ヨリ血出ル

ヲ炒抹シヒチリ懸ヨ 牙齒

齒ハ骨ノ餘リ腎是ヲ主ル 牙ノ陽明

ノ脉モ齒ニ入牙ニツク 色赤シ林カ四證 牙齒熱シ痛者齒

斷ハ痛ニ冷水ヲオソル 或ハ血出ル

芒硝 荆芥 升麻 地骨皮 黃連 生 地黃 之類 牙齒ヒ痛ム者 煎湯

ヲオソル 乾薑 草撥 細辛 胡椒 良 薑 丁香 秦椒 類 風ニオカシ齒

痛者冷熱ツオノ皂角。仁薑。  
蠶蜂房高頭細辛荆芥獨活乳  
香之類 蛙牙天必穴アリ 齒齧爛  
腫痛△六雄黃鶴虱

縮砂秦椒皂角ノ類

牙齒之活方

丁香散。牙齒ノ痛ニテ 丁香

華撥 蝟梢

右末ノ痛所ニ付ヨツキテハ吐ベシ

川芎散 面テハト牙齒痛ニテヨラレザルヲ

治ス 川芎 白芷 細辛

右等分抹シテ計リツケテ。ヨクシ

有ハ吐ベシ

香附子散 牙齒疼痛ニテヨリ 又

右割前ヨアツクハロスハクヒエハハケ

經驗後方。齒ノ痛ニ甚クキシ治ス

雞屎ノ白ニシヤキ粉ニテ痛所ニ置

カムヘニ 香鹽散。風冷シヤリキハヲ取テス

香附子 三兩 青鹽 別研 半兩

右細去ノ痛動ク齒ノク分ハケニ

付ハ必齒定ル

患牙ヲトケ法 烏頭

華撥 各一 川椒 細辛 各三

右末ニ患牙ノ内外ニツケヨ其齒

必ツク 荆槐散。牙ノ痛ニ血イテヤサ

ユラ治ス 荆芥 槐花 各等

右末ノ痛人所ニツケヨ

乳香丸 蛀牙ノ甚ダ痛ムヲ治ス  
右研合丸ノ

巴豆肉 枝

乳香 錢

蟲クイ 齒ノ穴ニ入置ヘシ

故ナク 牙齒ノヒエニ 血ノ出ルヲ治ス

香附子ノ皮毛ヲサリ 剉ニ生薑汁

ニ夜ヒタシテ 干シテ末シテ 口ニスハギ

齒ニ付ヨ 齒力タマリ 動カズ血上ル也

咽喉門

咽ハ燕也 咽門ハ胃ニトヲル物ヲノミ

胃ニイタル 喉ハ肺ニ通メ 氣ノ往來シ

主ル也 諸藏熱スレバ 口腫ルナリ 寒

ハ口 縮ル皆ノト 閉ツ風燥ニシカ

サレテノトヲ煩フ

咽ト喉ト病ノ分別 久ク嗽メ 喉ヤフク

物ヲ過食シ 或ハ嘔吐ニ依テ 咽中

腫

治例 氣虛レ 咽喉ニ瘡ヲ生セバ 人參

竹瀝ノ類 奇効良方ニ 白纏喉風

ヨクハレ 藥モトヲラサルニ 鼻中ニ入

是ヲ吐セテ 毒ヲ散スルニ 藥ヲ付テ

熱シキソイテ 腫レ消ス

咽喉之治方

礬豆散 喉痺トチ塞カリ 痛ニ甚シキ

ヲ治ス 明礬 錢 巴豆 二粒 右

土器ニテ 明礬ヲ炙ノ上ニ 三口カシ 其

中ハ巴豆ヲ一ヒニ 沸キレツマリカワ

イテ 巴豆ヲ去リ 明礬計リテ 末シ

テ 少計リ 筆ノ軸ニテ コツ中ニ 吹ヘシ

桔梗湯 風痰上ニ 塞カリ 口腫レ痛

吞三吐キナラサルヲ治ス 桔梗兩

甘草兩 右剉煎食後ニ温服ス

又ハ甘桔湯ト名ツタ

射干湯 喉痺ハシ子ガリ 痛食飲イ

射干 白芷

當歸兩 杏仁 升麻 犀角 犀角

甘草 右剉煎少温服ス

如聖湯 痰熱ノ咽ニ瘡生シ食物イ

ラス 救血氣急ニ或ハ小兒ノ毒咽

ヲ世々腫シ痛ムヲ治ス 麥門冬

牛蒡子 桔梗 甘草 生各

右剉竹葉ヲ入煎用又末ノ藥

湯ニ調下モ佳ナリ

右一味細沫シテ薑梅ノ内ニラシ合

三ト口カセ

一方喉痺シテモ云ヒス息イテス既ニ

難儀ニ及時用ベシ 膽礬二豆計

末シテ鴨ノ羽ニテ痛ム所ニ付ヨ即

イユモシ腫變チククイタクキノ髮ヲ

按キ去モ尤妙ナリ

諸毒門

夫人腹中ニ蟲アル事人ト共ニ生ノ人

ノタニ善ヲナス蟲ノ證モ九種ノ分

別有 一ニ伏蟲長廿四分是群蟲

ノ主也 二ニ蛔蟲長廿一尺此蟲心ヲシ

ラヌケ人ヲ害ス 三ニ白蟲長廿子

多ク子孫ヲ生ス甚シクハ長サ數丈

ニ至ル 四ニ肉蟲爛シタル杏子ノ如シ

人ヲ煩滿せ之 五ニ肺蟲形チカ  
イコノ如シ人ヲノ咳嗽させム 六ニ

胃蟲形チカワツニ似タリ人ヲノ嘔  
吐穢せム 七ニ弱蟲カタチ瓜ノ

ナカゴノ如シ人多ク唾ヲ吐カレム  
八ニ赤蟲ナマシキ肉ノ如シ人ヲノ腸

中ヲ鳴ラレム 九ニ蟻蟲イカニモ細カ  
ナリ胸腸ニ居ス多ク六痔トナル凡

藏虚レ脾胃ヨワシテ生冷甘肥  
油膩海藻ノ類ヲ雜食レ時節ヨ

ロトカラス停滯ノ蟲シユル其證カ  
ラエツキレ酸水ヲ吐キ涎多ク痛ミ

ヨリサメアリ千金方ニ曰五藏勞ス  
ル時熱シ生ス熱スルトキ八蟲シ生

白ト云 肺蟲ハカイヲ如シ 肝蟲ハ  
夕ニタル杏子ニ似タリ 腎蟲ハ寸ニ

切タル線ノ如シ 五蟲皆ヨク人ヲ目  
ス或人ノ説曰諸蟲皆カシラ下ニ高

フサリナカラ初一ヨリ初五ニ至ルニテ  
公頭ヲ上ニ向フ故ニ藥ヲ用ル物多

月朧以前ナルヘシ 三蟲トハ長蟲  
赤蟲蟻蟲シ云也

凡諸蟲ヲ治スルニ寒熱虚實ヲ察  
シ脉ノ浮沉遲數ヲワキマヘ脉ト證

トニ隨テ藥ヲホトコスヘ 又風寒  
暑濕ニ侵レテ蟲シヨラハ是ヲ散シ

是ヲ温メ是ヲ漏レ是ヲサマヘシ  
前藥ヲ用ヨ但シ蟲ノ藥ヲ加ヨ

七情鬱滯シ食事ニヨリ蟲發ハ是

ヲ和シ是ヲ消シヨシ丸藥ヲ用ヘシ

諸蟲之治方

聖効散 辺久シトハズ寸白蟲ヲ治ス

木香 檳榔 右細末ノ

先炙タル猪肉ノ類ヲ咀テ只汁ヲ

ノニ滓ヲ吐出即藥ヲ米飲テ調

下空心ニ用ヒ辰巳ノ刻ニ蟲下

雷丸圓蟲并ニ積ヲ治 檳榔

牽牛子 各半 雷丸 一兩 棟根 兩

大黃 兩 皂角 半 三稜 我木 兩

木香 隨意 右末ノ皂角ノ膏ヲ三テ

糊シテ丸ニ曉キ茶ノ上清ニテ用

ハシ蟲下テノ後白粥ヲ食セヨ

安蟲散 蟲ヲユリ心腹痛ニ面白ク口

檳榔 龍風 兩 白礬 結

右末ニテ每服一字米飲ニ調服ス

外臺秘要方ニ三虫ヲ治スルニナマシキ

桃ノ葉ヲ持キホリニ外ノムヘシ

寸白蟲ヲ治スルニカヤノ三四十九箇皮ヲ

サリ日ノ朔ヨリ七日マテマイ日七箇ツ

空心ニ服セヨ蟲消ノ水ト成ル

癰瘡門

瘡證多ク其脉ヲトリミロミスノ專守ラ

外ヲノミ攻メ治スル事誠ニ誤ナリ

夫癰腫ノ生スル事ハ陰陽和セズ氣

血壅滯スルニヨリ脉ヲ明キラヌン

何ヲ以テカ陰陽ノ虛實氣血ノ聚

散ヲ知マヤ

肢癰 浮ニテ數ナルハ發熱スベキニ

ツレ發熱せスカエツテツレ口鼻余八瘡  
瘡ノ生スルエ也 脈洪大ナル公將二瘡  
久々マテスル也 未ウツレガレト下ス

レウツエテ後脈洪大治シ難シ自  
利スル者モタスカラス浮ニシ數ハ表

熱也 沉ニシ數ハ裏熱也 仲景曰  
不時ニ數脈アラワレ公即惡瘡生ス

レト 脈孔ハ血虚ヲ主ル瀆テ後  
孔ヲ得ルハ治シ易シ瀉毛潰テ後

ハ苦レカラス 内經ニ曰膏梁ノ變  
諸瘡ノ本源

多ク丁腫ヲ生ス 又曰榮氣シタカ  
ワサハ肉理ニ逆シ癰腫ヲ生ス 又曰

モロクノ痛痒瘡ハ皆心火ニ屬ス蓋  
甚熱スハ痛三直ニサレツクハ瘡

カサトナル 皆火ノ用ナリ 又曰熱血ニ  
勝時公即癰トナルナリ 癰ハ瘡也

メ大ナリ 瘡ハ阻也 深シ惡キ瘡ハ節  
也 湯ハ頸ニアル小瘡ナリ 瘡ハ浮小

也カサホロシ類ナリ 結核ハ熱甚  
ニ羊時ハ瘡結堅硬ニ果中ノサ子

ノ如シカナラス 潰ヤブレサレ厄 熱散  
スル時ハ自ラ消ス

内發外發之論 初テ瘡ヲ發ス時  
麻子ノ如ク身體發熱シレ瘡ヲ生

ズル所モ又熱シ何ニモ高クハレ  
多ク痛シヤブレテ後肉色紅紫ナ

ルラ 外發トナス 若シ大サ血ノ如  
クナリトモ能ク藥ヲ用テ治スレハ

クナリトモ能ク藥ヲ用テ治スレハ

必愈 初テ痘ヲ發スル時身體

熱トスツヨクヨダルク 痘ノ生スル所モ熱

セス六七日間ニ漸々ニ廣ク大ニハレ

ス高ラスヒイラカス痛マス爛レクホムヤ

ブレテ後肉紫色ニ黒レ是ヲ内發

トナス未タイテキサル先ニ藏府ヤブ

レ損スル時ハ必ス死スル也

五善之辨 一ニ動息自ラヤス多飲食

ノ味ラヒル 二ニ大小便常ノ如クニ下

トイオル 三ニ膿スニハレ消レクサカラ

ス 四ニ眼アキラカニ面ノ色ヨク聲

常ノ如シ 五ニ形體和シテ神氣

タイラカナリ

七惡之辨 一ニ煩燥ヲ效レ腹痛三

テキヲツテサセズ 三ニ喘氣レ短

氣ニシ心ホレオキス 四ニ眼正レカラ

ス黒眼小ニ白眼赤ク青クソラツカ

イラナス 五ニ肩背ス多ニ子リ手

足ヲモレ 六ニ食飲スズカエ

ツキヲセ食味ヲレラス 七ニ口エカ

レ色ヤレ唇鼻アヲ多赤ク面目ヲ

フバル

右五善ノ中ニテ見サハ愈々七惡中

四ヲ見サハ危シ

内ヨリ外ニテ外ヨリ内ニテ論

狀沉實ニシテ發熱煩燥レ外ニ色ア

リ痛事ナク邪氣ヲカク内ニ甚

シ故ニ藏府ヲ疎通ノ以テ病根ヲ絶

ス 脉浮數ニ色トリハル事分ニ  
アツテ形證外ニアラワルオツラクハ  
邪氣極テ内ニユクヘ故ニ先裏ヲ

灸不灸之分別 灸ノ痛マズ公痛シ

テ後灸ヲヤメヨ 灸ノ痛ハ痛マズ

後灸ヲヤメヨ 灸ノ痛マサルハ先其

瀆ルニアタル故ニ痛マズ其後良肉

ニアタル故ニ痛ム 灸ノ痛ムハ先イマ

ダツエサルニアタル故ニ痛ム次ニツエシ

トスルニアタル故ニイタマズ先又レカニラ

以テ復ル上ニオホフ即ハヤクカク

所是瘡ノカレラ也ニニクヲアツク

手其上ニアテ 灸スニ壯ツクニテニ

ニイクル灸ノ痛ス公痛ニ至ルヘシ

瘡皮緩急之辨 癰疽ノカワヒキツリカ

タクイタムヨシ 瘡ノカハウツチニ元マ

ル手ノ下ニ 肺癰男女效ノ胃ノ

ソ痛ミ脚ハ咽カワキ渴レイキ唾

キニヨリナマクサタニ便レリ結ス是

肺癰面ノ色白ク嘔吐ス膿テ嘔吐

止者ハ自ライ子膿テ後嘔吐シ面赤

クウニヲハクコト白粥ノユトクナル者ハ

難治男ハ氣ヲ主トナス是ヲ得ハ

十三ニツ三ツヲスクヲ女ハ血ヲ主トナス

是ヲ得ハ十二ニツハツヲスクヲ實ス

ル者ハ先參蘇飲ヲ用テ後桔梗

湯虚スル者ハ先小青龍湯ヲ用テ

後桔梗湯

乳癰

婦人乳子ニリタルヲオシク治

スレハ必癰ト云乳房ハ陽明ノ經ニ

屬ス乳頭ハ厥陰ノ經ニ屬ス或ハイ

カルニヨリ或厚味ニヨリ氣流行セス

乳竅通セス汁出サレ結シ腫痛ハ

又陽明ノ經血熱スル時ハ膿トナリ

初テサ子マル時イタムヲコラヘシイテ

モミヤワラケ血脉通和シ自然ニ消

散ス是ヲ初ニセサレハ癰トナル

治癰疽之例 身ヲモク脈緩チラハ

濕ヲサレ身熱シ脈大ナラハ熱シヤ

正ニ謝著ニメクルメト動搖スルハ

脈弦ナルハ風ヲ散ヨ氣レクリ氣

トニヨリ乾燥シ脈瀉ナラハ氣ヲ瀉

シスカノヨシ 脈浮大ナラハ先裏ヲ

甘 左ノ寸關洪緩ニシ弦ハ客邪脈

上皮膚ノ間ニアリ心汗ヲ發シ其榮

衛ヲ瀉スハ癰疽ヲ治スルハ榮氣

ヲ瀉スベシ若寒ノ藥ニアラザレバ其

痛ヲタタク事アタハズ諸瘡ニ痛ミア

ハ俗醫往往ニ芳香ノ藥ヲ用テ

驗シナシ若シ經絡ヲ通シ藏府ノ

積滯ヲ去ハ必ズ痛無シ若寒ノ藥

ハ必ズ疼痛ヲ除ク

凡十二經ノ中ニ血結シ氣アツクハ必瘡

ヲ生ス專連翹ヲ用ヘシ謹隨テ藥

ヲ加ヨ 瘡發シ湯セハ葛根 瘡

入發シ嘔吐セハ半夏 瘡ニ瀉シモタ

ハハ黃連 瘡ニ水ヲ吞ハ澤瀉ニ沃

大便  
茶 六便結 大黃

カワキ通 難久 挑仁 麻仁 上焦

瘡アラハ 黃芩 中焦 瘡アラハ 黃

連 下焦 ノカサニ 六黃 藥 知母 防

巳ヲ加ヘシ 先燥熱 後カテ 有公

胃火甚シ 腎水ヲ 黃栢ニテ 補

癰瘡之治方

乳香散 癰疽初テ 發シニ 日ナス 毒

氣ノ心ヲ 攻ニテ 防クニ 先此藥ヲ

服スニ 嘔吐スル 物ハ 大切ナリ

真菘豆粉 通明乳香 兩

右細蘇 每服ニ 錢ニク 煎シタル 甘

草湯ニテ 調下ス

解毒散 癰疽始テ オボユルヲ 治ス

木通 石膏 玄參 麥門冬

甘草 各半 右剉煎シ 温服スヘシ

葛根散 癰腫熱盛ニ 口カワキ 煩渴ニ

カラマツクヲ 治ス 葛根 黃耆

升麻 麥門冬 瓜蒌根 赤芍藥

梔子 生地黃 各一 黃芩 分三

右剉煎服ス

内消散 癰腫カ多ク 結シ 疼痛スルヲ 治

人參 瞿麥 白欬 升麻

當歸 黃芩 防風 黃耆

沉香 甘草 各一 赤小豆 煮熟

右末ニ 湯ニテ 調下ス

清腫竹葉湯 癰疽熱盛ニ 心ハ 痛ミ

イロド ルヲ 治ス 生地黃 六 黃芩

芍藥 人參 知母 甘草

白茯苓 各三  
黃芪 麥門冬 右剉每服一錢

梅花飲 切テ生シ熟シ煩渴シ瘡毒  
内ヲ攻ムルヲ治ス 忍冬 瓜蒌根

葛根 川芎 烏梅 黃耆

甘草 蘇木 右剉煎シ服スヘシ  
五香連翹湯 一切ノ惡核癰疽諸腫

狗ヲ治ス 大黃 青木香

沉香 乳香 丁子 麝香

射干 木通 桑寄生 連翹  
五香湯 裏ヲ托シ毒氣腹ニ入ヲ治ス  
別證有ハ加減ス 丁香 木香

右咀散シ煎シ服ス 嘔吐ハ麝香ヲ加

リ藿香ヲ加  
門冬湯 癰疽ツエテ後膿水タエサルヲ

治ス 麥門冬 黃耆 五味子

白茯苓 人參 官桂 當歸

遠志 川芎 甘草 分  
右生薑薑薑薑煎シ用

外麻湯 臂ノ上ノ癰ヲ治 白芷 半  
外麻 桔梗 生黃耆

酒黃芩 紅花 甘草 各半  
右せシ食後ニ服ス

内托連翹散 疔瘡イデ皮ノ色ヘセ不  
痛ニス推動カス寒熱ヲ發セバ即  
針ニテサシテ後是ヲ服セバ自ラ消

散スヘシ 連翹 白芷 生地

赤芍 兩 大黃 一 枳子 薄荷 錢

朴硝 兩 黃芩 兩 甘草 半

右剉燈心竹葉ヲ入煎服ス

黃耆散 癰疽ツエテ後ヲ治シ客熱ヲ

サリ。虚ヲ補 黃芪 石膏 兩

知母 麥門冬 白芍 白茯苓

桂心 熟地黄 人參 外麻 兩

甘草 兩 右煎服ス

牡丹散 肺癰生じ兩乳ノ間。胃痛ニ

膿血ヲ吐レ息キノ臭ヲ治ス

牡丹皮 赤芍 地榆 桔梗

薏苡仁 升麻 黃芩 甘草 錢半

右剉煎食後ニ服ス

内托外麻湯 婦人ノ乳ノ堅クサ子ニ

甘草 錢 瓜蒌仁 錢 右煎食後

二服ス

瓜蒌散 乳癰疥癩ヲ治 瓜蒌仁 錢

乳香 字 右細末ノ温酒ニテ服ス熱

甚シキ者ニ右膏ノ抹少計加テ之

婦人ノ乳ノ堅ク痛ズ痒カラス子

ニテトキ合是ヲ付ヨ妙ナリ又ヘコ

ノハシタルニモヨシ

又生地黃ノ汁ヲツキシホリ付ヨ乾カハ

類ニ付替ヨ必驗有

外麻 飲心ニ風熱アツテニカサノ多キヲ

治ス 外麻 大黃 黃芩

赤實 芍藥 當歸 甘草 兩

右燈心ヲ八煎用 防風 荆芥

一掃散疥癬ヲ治 薄荷 甘草

苦參 地骨皮 右末ノ蜜水ニテ調下或丸ニ茶清ニ

テ用ヨ

赤豆湯 少年氣血トモニ熱シ瘡疥ヲ

生シ癩腫痛トナリ煩渴ノ小便

澁ルヲ治ス 赤豆 當歸

商陸 連翹 赤芍 防己

猪苓 桑白皮 澤瀉 右剉煎服ス熱甚レモ犀角ヲ加

諸ノ瘡疥赤腫ヲ治スルニ赤小豆ヲ水

シ水ニ下キ合カサクワリ及ビ赤キ

ヲチカクモ故ニ苧根ヲ末ニ赤小豆

ニ加テ付ヘシ子ハラスノ落レ易シ又

赤小豆ノ煮汁ヲ香モヨシ

疥ノ付藥 羊蹄根 草烏

硫黃 白礬 生薑 右末ノ

浮シ一夜ヒタレスリ合ヨキスヲ入カサ

洗テワタヨヒラクシタル湯ニアス

乾癬久ク愈スフタカキハナセハ煮汁

イテクモリ雨ノ丸毎ニ痔ヲ治ス

巴豆 堅子 右炭火ニテヤイテ油

盡テニツラ少ハカリ加テスリ合ウスタ

付ヘシ

諸癩ヲ治スルニ生半夏三兩ツキ多キ

フルキヒレホヲ入スリ合癩ノ上ニツキ目

二三度

癩風ヲ治スルニ先コワキ布ニテスリハカニ

ヲタテヤフリ。チスル人々ニテスリハカニ

附子 硫黄 各等 研合薑汁ヲ入

テツケヨ 又蛇蛻ノ煎汁ニテトク

アラズ必ズ愈也

三十年モ愈ザル惡瘡ヲ治ス

大黃 黃連 黃芩 各一 右末

瘡ヲ洗ヒシテイ。ツケヨ日ニ三度

黃蘗ヲ加テ良

手足ノ惡瘡新久ヲトス。治スルニ

黃柏ノウハ皮ヲサリ蜜ヲスリ灸

カハカニ如此三度ノ剉末ノ水ニテ

ヨ子テ先山椒ヒトモレノ煎湯ヲ瘡

ヲアラヒ乾ヒ輕粉少シ瘡ノ底ニオ

紅縮ニテカタクムラベレウコカレハタラ

カスヘカラス瘡ノフタ落ラズ必ズ愈也

又人ノ骨ヲヨクマキテ末シヒ子リカク

ルモ吉シ

折傷之治方

雞鳴散。高キヨリヲキ。或ハ木石ニテオ

レ瘀血痛ヲ治ス 大黃 酒浸 柴胡

杏仁 二十粒 右煎酒ヲ少ク合曉

雞鳴ノ時服ス。明テ瘀血下ス

活血湯高キヨリヲキ。惡血脇下ニ流

甚痛ヲ治ス 大黃 酒浸 柴胡

當歸 錢各二 桃仁 五十 紅花 錢

天花粉 川山甲 炮 甘草

右煎酒ヲ加食前ニ用

沒藥 打撲傷損レ或ハ落馬レ木石

ニオサレ痛ムヲ治ス  
乳香  
為藥

沒藥 川芎 白芷 右等

甘草 牡丹皮 生地黃 右等

分細末之童子小便ニ酒ヲ加調下ス

骨ヲクシキ。ウキカワセ腫レ痛ムニハ

生葱ヲ介爛ラカセテハニテイリ熱シ

マツキ時ハレタル上ニオシヤテ縮ミ

ツニ。カラケテヲクヘ冷水ヲムヘカ

ラス杖瘡ヲ治スルニ赤小豆ヲニマ

カニカニクタイテ痛ム所ニ付ヨ

水之治方 凡水ニヲホレ死シタルヲ

公ニ宿毛猶スクラベレ皂角ヲ粉ニシ

綿ニテツミ。肛門ニ入ヘ。即水イテ

即活スヘレ 又羊醋半盞ヲ鼻ノ

凍死之治方 手足スクニロクイツヌテ

只クイキヨクニ金ニテ灰ヲイ川温

水ニテ洗フ。若クハ酒ニテ洗フ。其後

眼ヲヒラキ息イテ其後粥ヲ清

ク少クセシ。若クハ胃ヲマタメス。火

ニテアブレハ必死スルナリ

癩死之治方 物ニオソク死セハ燈ヲ

不可照前ニテカツイテ急ニ不可換

雄黄ノ末ニ錢ヲ桃枝ノ煎湯ニテ用

骨鯁之治方 魚鳥ノ骨咽ニ立タルヲ

給ス 縮砂 甘草 右等分少  
綿ニ包ミ合テ。汁ヲ香ヘレ必ス痰ニ  
隨テイツ  
一方象牙ヲ細末メ水ニテコクスリヲ  
ロノムヘレ

一方鵬破糸ヲ新汲水ニ調下ス

竹木刺之治方

ヨロ物ノ立タスニ牛膝ノ根ヲカニ爛ラ

カレ付ヨ

一方黑豆ヲスリタラカケ水ニマヤヒツ

ケヨ妙ナリ

箭子ノ肉ニ留リ或ハトギノヌケルヲ治ス

ルニ 巴豆去皮

羌娘大者一握

二種

同ク炒テ研マセ疵ノ口ニ付ヨ痛ニ必ズ

痒ニ甚痒キ時疵ノ口ヲカキウケカセ

必ズ又クル也黃連湯ニテ洗ヒ牛ノキ

モテ石灰ヲトキ合付ヨ

自縊之治方

トモ冷スヘハ解ニイタキカエテ繩ヲ

トケ切ニ繩ヲキラガレ和ニ喉ノ

目ヲヲレナラシ兩耳ニ管ヲ入テ兩

人ノ吹ヘシ一人ハ兩足ニテ扇ヲ踏テ

其手ニテ髮ヲヒク少モユルムヘカ

ラス一人ハ手ニテ其胸ヲ下ヨリ上

ヘサスリ擧ヨ二人ハ其手足ヲ何

ニ毛和ニノタリカバメタリメサスル

若イキタラハ温粥ニテ因シ可潤

一方ニ即鼻下ノ人中ノ穴ニ針灸

スレハ必ズイク

毒蛇ノ人ヲサレタルヲバ急ニ地ニ坑ヲ

ホウテ痛所ヲウケミカタク其上ヲ

キツク毒氣即土ニ入テ痛ニヤム

毒蛇ノ人ノ穴ニ入タルヲ急ニ尾ヲカミ

サキ胡椒ヲ分ニイト三トカラケテ

ヲ入自ラ出ツタ久ヘカラス

毒ヤニアタリタル人。水ヲ渡ルカラス

ワレハ痛ニ甚シ

毒蛇ヲサクル法雄黄ノカタニリタル

ヲ五兩カケテ。身ノウキニモツベレ山

路ニ入トモアテ。蛇近ツカズ

馬嚼之治方

馬ノ人ヲカミタルニ。雞冠血ヲ付ヨ

陽馬ニ。雌雞ノ血ヲ用ヘレ陰馬ニ

雄雞ノ血ヲ用ヘレ

犬咬之治方  
人ニヒ大ヲワレタルニ。明礬糸ヲ入テ

ヲ交ヨメテ。スダレヌイユ

方生谷仁ヲトガリヲステ。細末水

ニ合付ヨ